

令和7年度 明 和 中 学 校 学 校 評 価 一 覧 表 ① (様式1)

(A:十分達成できた / B:達成できた(具体的数値項目) / C:もう少しで達成できた / D:達成できなかった)

評価対象	羅 針 盤		方 策	質 問			A B 以上			自 己 評 価 ①	A B 以上			自 己 評 価 ②
	評価項目	具体的数値項目		生徒へ	保護者へ	職員へ	生	保	職	改 善 策	生	保	職	改 善 策
Ⅰ 保護者との連携	1. 生徒の活動の様子を保護者へ連絡し、理解を得るよう努めていますか。	①「学校や子どもの様子が分かる」と保護者の80%が答えている。	○学級・学年通信およびホームページ、ラインでの一斉送信等を用いて情報提供をする。		学年通信、授業参観、学年・学級懇談、体育祭、学校行事、部活動などを通して、学校や子どもの様子がわかりますか。	学年通信、授業参観、学年・学級懇談会、体育祭、学校行事、部活動などを通して、学校や生徒の様子が伝わるよう情報提供をしていますか。		85.8	93.8					
		②保護者の80%が学校やPTA諸行事に1回以上参加している。	○諸行事において生徒が活躍する場面を設定するようにし、保護者にとって参加したくなるようなものに工夫する。		授業参観、学年・学級懇談、体育祭、学校行事、部活動での応援等に、今学期1回以上参加しましたか。	保護者が、授業参観、学年・学級懇談会、体育祭などへの参加、部活動への協力等に参加するよう呼びかけしていますか。		97.5	93.8					
	2. 生徒一人一人の充実感や成就感を高める学校行事の実現に努めていますか。	③生徒の90%が体育祭や合唱コンクール、宿泊行事等の学校行事に満足感をもっている。	○生徒が全力を発揮できるよう支援し、行事内容も工夫する。	あなたは、体育祭、合唱コンクール、宿泊行事等の学校行事に満足感をもっていますか。		生徒が体育祭、合唱コンクール、宿泊行事に満足感を持って取り組めるよう支援していますか。	95.3		87.5					
Ⅱ 確かな学力	3. 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めていますか。	④「授業が分かる」と生徒の80%が答えている。	○確かな学力が身に付く授業展開や指導法の工夫をする。	あなたは、授業がわかりますか。	お子さんは、『授業がわかる』『授業が楽しい』と言っていますか	生徒が、授業をよく理解できるよう指導法の工夫、授業改善を行っていますか。	87.1	85.8	93.8					
		⑤授業において生徒の80%以上が課題に対し、主体的に深く考え解決にむけ取り組んでいる。	○教科の特性に応じた問題解決学習の工夫を行い、課題に対して生徒が判断し、取り組めるような授業改善を行う。	あなたは授業において、自分の考えを表現したり友達等と意見交流したりして粘り強く取り組んでいるか。		生徒が既習の知識や技能を活用し、問題解決のために考え、判断し、取り組めるよう授業改善を行っていますか。	82.8		87.5					
		⑥学力向上、進路の実現に向けて学習に取り組むことができる生徒が80%以上である。	○進路に関連させながら、学力向上、進路の実現に向けて学習に取り組むことができるように指導、支援する。	あなたは、学力向上、進路の実現に向けて学習に取り組むことができますか。	お子さんは、学力向上、進路の実現に向けて学習に取り組むことができますか。	生徒が学力向上、進路の実現に向けて学習に取り組むことができるよう指導、支援していますか。	76.3	56.7	81.3	・学力向上、進路の実現を常に意識するように教師が毎日の授業の中で助言をし、生徒の意欲の向上に努める。保護者の数値も低いので、保護者に対しても面談等を通して教師の思いを伝えることが必要である。				
		⑦学習において、ICT機器を活用することを、80%以上の生徒が効果的だと答えている。	○ICT機器を、効果的に活用した授業づくりを工夫する。	ICT機器を活用した授業は、学力向上のために効果的だと思いますか。		ICT機器を学力向上のために効果的に活用した授業づくりに取り組んでいますか。	94.0		56.3	・ICT機器を活用した授業が効果的であると90%以上の生徒が応えているので、教員間で情報共有しながら効果的に活用した授業づくりに努める。同時に、ICTを効果的に活用した授業実践に関する校内研修を実施する。				
Ⅲ 豊かな心	4. いじめのない温かい人間関係づくりと共に、勇気と友情の育成に努めていますか。	⑧学校や学年は、悩みやいじめ等の相談に適切に対応していると90%以上の生徒が答えている。	○いじめの調査や生活アンケート、生活ノート等の活用、SC等との連携を密にする。 ○温かい人間関係を築き、居場所のある学級づくりに努める。	あなたの悩みやいじめ等の相談に先生方は親身に対応していると思いますか。	学校や学年は悩みやいじめ等の相談に、適切に対応していると思いますか。	生徒の悩みやいじめ等のついて相談されたときに適切に、親身になって対応することができますか。	96.6	67.5	87.5	・生徒は、96.6%が学校、学年に対して適切に対応していると応えている。反面、保護者の数値が低いので、悩みやいじめ等の相談時に、保護者対応を含め、信頼を高めるようにしていくことが必要である。				
	5. 生徒は時と場に応じた適切な言動をとっていますか。	⑨教師、保護者の80%以上が時や場に応じた適切な言動が育っていると答え	○生活全般で時と場に応じた適切な言動ができるように指導、助言を行う。	あなたは時と場に応じた適切な言動が	お子さんは時や場所、相手に応じた適切	生徒が場所や場に応じた適切な言動がで	94.8	85.9	93.3					

	すか。	ている ⑩生徒の 80% が、道徳の授業において自他を見つめ直すことを有意義だと感じている。	○道徳の授業のねらいを明確にし、生徒が皆と話し合いながら自他を振り返る時間を取り入れるような指導の工夫に努める。	できていますか。 道徳の授業で皆と話し合いながら自他を振り返る時間を有意義だと思いますか。	な言動ができていますか。	きるよう指導していますか。 道徳の授業において、生徒が皆と話し合いながら自他を振り返る時間を取り入れるような指導の工夫をしていますか。	92.2		75.0	・お互いに授業を見せ合う研究授業を行って莉、資料、教材等を積極的に共有、活用したりして指導の改善、工夫を行っていく。				
Ⅳ 健康・ 体力	6. 生徒は基本的生活習慣を身に付け、健康の保持・増進に努めていますか。	⑪睡眠時間を十分に取り、朝食を食べてきている生徒が 80% 以上である。	○生徒の基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上の呼びかけに努める。	あなたは、睡眠時間を十分にとり、朝食を食べてきていますか。	お子さんは、睡眠時間を十分にとり、朝食を食べていますか	生徒が、健康的な生活の確立ができるように、指導・支援をしていますか。	84.5	76.7	81.3	・保護者の数値が低くなっているため、面談等を通して保護者に対する意識の向上を図るようにすることが必要である。				
		⑫感染症予防、熱中症予防等の正しい知識を学び、 90% 以上の生徒が健康な生活を心がけている。	○授業だけでなく、保健便りや学校便り等でも健康の重要性を周知し、受診等も促す。	感染症対策、熱中症予防などの知識を学び、自分の健康に関心をもち健康的な生活を心がけていますか。	お子さんに健康的な生活を心がけさせ、疾病があった場合、治療にいかせるようにしていますか。	感染症対策、熱中症予防などの知識を学ばせ、自分の健康に関心をもち、健康的な生活を心がけるように指導していますか。	94.0	85.8	100					
		⑬部活動や特技に励み、生徒の 85% が自分の力を発揮している。	○部長を中心に生徒が主体的に練習に取り組めるよう工夫する。	あなたは、部活動など（学校外のスポーツ活動も）に積極的に参加していますか。	お子さんは進んで部活動(学校外のスポーツ活動も）に取り組んでいますか。	生徒が積極的に部活動（学校外のスポーツ活動も）に取り組めるよう支援していますか。	85.3	95.8	93.8					
Ⅴ 安全確保 施設設備	7. 学校は施設設備の安全管理を徹底していますか。	⑭学校は定期的な校内安全点検及び緊急時の対応を適切に実施している。	○点検表を活用し、毎月の点検を実施・集約し、安全主任が管理職に報告している。			施設設備の担当場所で安全点検を徹底しているか。			100					
	8. 学校は交通事故や火災、不審者対応、危機管理、安全教育に努めていますか。	⑮学校は、交通安全教室、不審者対策訓練を実施し、生徒の安全管理の徹底に努めていると答える生徒が 80% 以上である。	○危機管理マニュアルの理解を図り、保護者、職員パトロールを継続実施する。	登下校時の安全について配慮し自転車の乗り方、不審者対策等正しい行動がとれていますか。	学校は、交通安全教室、不審者対策訓練の実施など生徒の安全管理の徹底に取り組んでいますか。	生徒の登下校時の安全ついて配慮し、不審者対応等の指導を行い、生徒の安全確保を図っていますか。	95.6	94.2	93.8					
Ⅵ 進路生き方	9. 生徒たちが将来への夢や希望について考えられるようキャリア教育の実践に努めていますか。	⑯体験活動や進路学習を行ったときに、親子進路相談の時などに将来の夢や希望、生き方について親と話し合いを持つ生徒が 80% 以上である。	○進路相談や面談等を定期的に実施し、キャリア教育の充実を図る。	あなたは、体験活動や進路学習を行ったときや、親子進路相談の時などに家庭で将来のことを話題にして話し合うことがありますか。	ご家庭では、体験活動や進路学習を行ったとき、親子進路相談の時などに将来の夢や希望する進路について1回以上話題にしましたか。	体験活動や進路学習を行った時や親子進路相談の時などに、家庭で将来のことを話題にして話し合うように指導・支援を行っていますか。	70.3	89.2	87.5	・学年別の結果を見ると3年生は85%を超えているが、1年生の数値が低くなっている。そのため1年生から進路に関する指導を積極的の行うようにして、生徒と保護者の意識を高めるようにする。				
Ⅶ 組織運営	10. 各種教育計画の評価・改善に努めていますか。	⑰ 80% 以上が前年度の行事の反省、引き継ぎを活かした質の高い教育活動が展開されている。	○行事の反省や引き継ぎを本に教育活動の改善に努める。			行事の反省や引き継ぎをもとに教育活動改善に努めていますか。			87.5					
	11. 教職員の経営参画意識の高揚が図られていますか。	⑱チーム制の円滑な導入によって、協働態勢が確立され、各分掌の目標が 80% 達成できている。	○管理職、教務、学年主任、各分掌の主任が原案を考え、PDCAサイクルを意識して教職員の参画意識の高揚を図る。			管理職、各分掌の主任を中心にPDCAサイクルを意識して教職員の参画意識の高揚が図られていますか。			93.8					

